

2025 山田中学校グランドデザイン

気づく つながる 創り出す ～自ら考え、行動できる生徒の育成～

●めざす生徒像●

1. 自分や他人の良さ、社会の課題に気づく生徒
2. 仲間をはじめ多くの人とつながり、考えを深める生徒
3. 新たな自分、未来社会を創り出すために行動できる生徒

●めざす教師像●

1. 一人ひとりの良さを認め、生徒の可能性を引き出すための支援ができる教師
2. お互いの学びを交流し合い、新しい価値観や物事を想像して創り上げていく教師
3. 仕事だけでなく自分の人生を楽しむことができる教師

確かな学びと自立を育む教育の充実

- ① 探究的な学習活動の再構築と充実（生徒の「わかった!」「知りたい!」を引き出す授業づくり）、課題解決型学習（PBL）の推進
- ② 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（一人もひとりにしない）
- ③ 自学自習力の向上課題解決型学習④ 学力向上主担者を中心とした学力向上委員会等の組織的な取り組み

豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ① 人権教育の推進
- ② 道徳教育及び健康教育の推進
- ③ 特別活動の充実

学年目標
教科目標
分掌目標

教職員の資質と指導力の向上

- ① 教職員の教育公務員としての自覚・責任の向上
- ② 教員の「授業力」の向上
- ③ 働き方改革の推進

「ともに学び、ともに育つ」教育の充実（支援教育の充実）

- ① インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた支援教育の推進
- ② 個別の指導計画、支援計画をもとにした指導方法の研究推進

学びのセーフティネットの充実 （生徒指導（生徒支援）・安全教育の充実）

- ① 発達支持的生徒指導及びいじめ、不登校対応の充実
- ② 安全確保に向けた組織体制の構築と安全教育の推進

社会に開かれた学校づくり

- ① 家庭・地域との連携
- ② 地域人材を活用した課題解決型学習（PBL）の推進

学年目標	教科目標		分掌目標
1 学年 ・基本的生活習慣の確立 ・基礎学力の定着 ・安心安全な学級・学年作り ・家庭との密な連携	【国語】 ・自分の考えを表現する力 ・話を聞いたり、文章を読んだりして内容理解を深める力 ・漢字を読む力、書く力 ・書写の能力を生活に役立てる力 【数学】 「自分や他人の良さ、社会の課題に気づく生徒&仲間をはじめ多くの人とつながり、考えを深める生徒」 ① 基礎的・基本的な計算力の定着を目指す。 ② ペア活動やグループ活動を通して、様々な考えや発想があることを知る。 ③ 論理的に説明する力・表現する力を身につける。 ④ ジャンプ課題や探究課題に粘り強く取り組む態度を育てる。 【理科】 ・自分でまず考え、仲間の意見を大切に、先生や仲間の話を聞くだけでなく、そこから自分の考えを広げ、それを仲間に説明できるようにする。 ・実験や観察の方法を正しく理解し、安全に正しい手順で行う。 【社会】 ・社会的事象について問いを立てる力 ・社会的事象に関する情報を収集する力 ・社会的な見方・考え方を働かせて読み取る力 ・読み取った情報をまとめる力 ・自分の意見や考え方を伝える力	【英語】 ① 自分の気持ちや考えを、相手に配慮して「伝える力」を身につけることができる。 ② 身近な人、地域、社会や世界に目を向け、繋がり、考動することができる。 【音楽】 ・表現しようとする力。＜歌唱＞ ・工夫して音楽表現するために必要な技能。＜歌唱＞ ・音楽の良さや美しさを感じ取る力＜鑑賞＞ ・楽器それぞれの良さを感じる力。＜器楽＞ ・楽器を丁寧に扱う力。＜器楽＞ 【技術・家庭科】 ・日常生活に必要な基礎・基本で最低限の知識と技能 ・生活全般における安全やリスクの問題を理解し、危険回避できる行動力 ・家庭の機能知り、自立生活可能な実践力 【美術】 ・自分の想いを表現する力 ・思いついたアイデアをよりよくするために深める力 ・完成をイメージし、そのために何をするのか考える力 ・自分で選んで自分で決める力 ・物を大切に、丁寧に扱う力 【保健体育】 ・体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習をする。 ・生涯にわたって心身の健康を保持し、豊かなスポーツライフを実現する為の資質・能力を身につける。	【生徒会】 ・山田中学校の生徒の心を育てる生徒会活動の充実を図り、生徒達の自主性を育てると共に社会性の育成に繋がる生徒会活動を行う。 ・活動の中で、将来日本のみならず世界の中心となるようなリーダーの育成にも繋げていきたい。 【学習】 - 学校教育活動の根幹部分である「授業」において、チームとして真のファシリテーターを目指して、企画し、推進することができる。 【進路】 「自己理解・自己選択・自己決定」 ～自己を知り・未来を見据え・道を拓く～ - 進路に関する情報を正しく理解し、自己を見つめ、自己の個性や興味を理解することで、これからの自分の「ライフプランニング」を立て、自分に適した「進路」を見つけることができる。 【生徒支援】 ・互いに認め合い、支えあい、助け合う集団をつくる。 ・「いじめ基本方針」に基づきいじめの未然防止、早期発見。 【支援教育】 ・個々が自分の良さや、課題を理解し行動できるよう、個々のニーズに応じた指導を考え、卒業後の自立を目指す。 ・小集団での交流を通して、生徒が他者と適切にかかわることのできるよう支援する。 【道徳・人権】 1 生徒一人ひとりが自立し、幸せに生きるための人権教育。その為の人権課題に「気づく」人権教育、生徒集団作りを 1 年生から系統立てて進める。 2 総合的な学習や教科の授業を通じて平和の大切さや日本や世界の文化の成り立ちを学ぶ中で、一人ひとりの違いを認め合い新たな人と「つながる」（多様性）を尊重する考えをはぐむ人権教育に取り組む。 3 生徒一人ひとりが自分の人権課題に「気づく」ことができ、自分と自分を取り巻く人を大切に思う「つながる」力をもとに、自分で考え、自分の力を信じて仲間と共に新しい動きを「創り出す」ことのできる生徒を育てる人権教育をめざす。 4 人権についての課題を教師も幅広く学び、考える。それをファシリテーターとして生徒に伝えることを教員それぞれが意識する、自主的な活動としての人権平和教育をめざす。
2 学年 ・気づく ・自他を大切にする ・安心して過ごせる ・コミュニケーション能力の育成			
3 学年 ・自分たちで声をかけ、意識し、自発的に基本的な学校生活のルールを守る。 ・自分で考える力・課題に取り組む力をつけ、仲間とともに考え、学んでいく。 ・自分のために、周りのために前向きな気持ちを友達、クラスや学年、学校の仲間に広げられる。 ・達成感、充実感、仲間との絆が深まるなど肯定的な感情に気づき、その過程を大事にする。 ・目標をもったり、計画したり、進路選択・決定できる。			